

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人逗子市社会福祉協議会

## 目次

前文	1
----	---

### I. 地域福祉活動推進部門

1. コミュニティソーシャルワーク活動推進事業	3
(1) 個別課題の把握と地域連携の推進	3
(2) 逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画の推進	3
(3) 逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画の進捗管理	3
(4) 地域福祉推進部会の運営	3
2. ボランティアセンター事業	3
(1) ボランティア活動の推進	3
(2) 各地域における地域福祉活動の仕組みづくり及び支援	5
(3) 福祉教育・福祉人材育成の推進	7
(4) 災害ボランティアセンター・災害対応事業	9
(5) イベント保育サポーター派遣事業	9
(6) 福祉団体等財政支援	10
3. 当事者・当事者団体支援活動	10
(1) 家族介護者支援事業	10
(2) フレンドリーヘルパー派遣事業	11
(3) あゆむサービス事業	12
(4) お元気確認サービス事業	12
(5) ひとり暮らし高齢者訪問事業	12
(6) 障がい者支援	12
4. 広報・普及啓発・会員制度	12
(1) ガイドブックの作成	12
(2) 広報紙の発行	12
(3) ホームページ等の運用	13
(4) 事業広報による本会への理解促進	13
(5) 本会会員制度	13
5. 体験学習施設親子スペース等運営事業	13
(1) 体験学習施設親子スペース等に係る事業	13

### II. 自立支援事業部門

1. 日常生活自立支援事業	15
(1) 逗子あんしんセンター	15
(2) 権利擁護相談	16
(3) 広報・啓発	16
2. 成年後見事業	16
(1) 法人後見事業	16
3. 生活困窮者自立相談支援事業	17
(1) 相談対応・実績	17
(2) 相談対応後の継続・終結・経過観察	17
(3) 住居確保給付金	17
(4) プラン作成件数	17
(5) 生活保護受給者等就労自立促進事業申請者	17
4. 家計改善支援事業	17
(1) 相談対応・実績	18
(2) 対応状況	18
(3) 司法書士相談	18
5. フードドライブ事業	18
(1) 食料支援	18
(2) 子ども応援大作戦	18

6. 生活支援事業	18
(1) 資金貸付事業	18
(2) 生活援護事業	19
7. さくら貝サービス事業所	20
(1) 居宅介護支援事業	20
(2) 居宅訪問介護サービス事業	20
(3) 障害者総合支援事業	20
8. 地域包括支援センター	21
(1) 総合相談・支援業務	21
(2) 権利擁護業務	21
(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務	22
(4) 予防給付・介護予防ケアマネジメント業務	22
(5) 認知症に関する取り組み	22
(6) 地域ケア会議推進事業	23
(7) 生活支援コーディネーター（第2層）業務	23
(8) 重層的支援体制整備事業	23
(9) 介護予防実態把握事業	23
(10) その他	24

### Ⅲ. 法人運営部門

1. 法人運営事業	25
(1) 評議員会・理事会・監事会・苦情解決第三者委員会・法人運営部会 ・評議員選任・解任委員会	25
(2) 研修	26
(3) 法人運営体制の強化	26
2. 企画事業	27
(1) 企画	27

### Ⅳ. その他

1. 逗子市福祉会館管理運営事業	28
(1) 部屋別利用状況	28
(2) 利用者別利用状況	28
(3) 有料件数と金額	28
2. 基金等運営事業	28
(1) あゆむ銀行の運営	28
(2) 福祉基金の運営	29
3. 車イス・イベント機器の貸出	29
4. 社会福祉実習生の受け入れ	29
5. 駐車場管理運営事業	29
6. その他	30
(1) 神奈川県共同募金会逗子市支会事務局	30

## 令和5年度返子市社会福祉協議会事業報告

本会では、令和5年度から『「その人らしく生きること」をお互いに支え合う福祉のまち』の実現に向けた『地域福祉推進計画・地域福祉活動計画』に基づき、各種の地域福祉推進事業に取り組みました。令和5年度は計画の初年度として、特に以下の事業について重点的に、さらには新たな取り組みとして実施いたしました。

### 地域福祉推進係

#### ・コミュニティソーシャルワークの体制整備

地域生活課題について住民が自ら主体的に把握し解決をする仕組みづくりのため、自治会町内会やお互いさまサポーターチーム等の地域活動団体と連携して、地域生活課題の把握及び解決に向けた協議を行った。支え合いに参加する母体の増強を図った。

#### ・担い手の発掘・育成

地域住民の福祉意識の醸成を目的として、地域支え合い学習会を開催した。また子育て世代を中心とした多世代に向けた居場所を開催し、地域活動の周知と参加の機会を設けた。地域活動団体等が開催する会合や集会等の場では、社協職員のミニ講座を実施し、身近な取組みから活動に繋がる機会を設定した。

#### ・個々の生活を支える基盤の強化を図る

フレンドリーヘルパー、あゆむサービス等について、制度の隙間による暮らしの不便さを解消・軽減するため、住民主体活動の特性を生かした支援の在り方や派遣体制等の見直しを行った。

#### ・地域の介護力向上を図る

家族介護者教室を開催し、家族介護者の心身の負担軽減を目的とした知識や技術を伝える場を設けるほか、介護に関する入門的研修、介護職員初任者研修を開催し、身近な地域で段階的に介護について学べる環境を整えた。

### 地域生活支援係

#### ・総合相談の強化・整備

複雑化・多様化した生活課題と向き合えるよう、ハローワーク・就労支援センター「ねくすと」等との連携、市で主催している重層的支援体制整備勉強会への参加、地域包括支援センター主催の地域ケア個別会議への出席等、専門性の強化に努めた。

### さくら貝サービス事業所

#### ・事業継続計画の検討・策定

大規模災害や感染症拡大等による有事においても支援が継続できるよう、事業継続計画の策定を行った。

#### ・個別支援対応力の強化

個別支援におけるスーパービジョンや事例検討を継続的に実施し、相談援助技術・介護技術の向上を図った。

#### ・事業所内の職員体制整備の推進

職業倫理を常に意識し、適切なサービス提供ができるよう人員体制整備や、研修を実施した。

#### ・ヒューマンエラー0を目指す

サービス提供における苦情や事故について、事故報告やヒヤリハット報告をもとにその原因分析を行い、再発防止検討を行い、事業所内全体で周知を図った。

- ・地域ケアへの視点強化

社会福祉協議会が運営をする事業所であることを意識し、高齢化率の高い地域の特性を踏まえた在宅ケアの提供や、地域住民への介護予防的ケアの提供・伝達を行うことで安心して高齢期を送れる地域づくりを各セクションと協働し、支援の視点を広げるよう努めた。

- ・家族ケアへの視点強化

要介護高齢者を取り巻く家族環境の変化等に対応する能力を強化するため、研修などにより家族システムの理解を深め、家族アセスメント能力の向上を図った。

#### 地域包括支援センター

- ・重層的支援体制整備における相談支援包括化推進員の機能の充実

個別支援ケースにおいて、関係機関と連携をとりカンファレンスを実施した。また、必要に応じて法人内の関係部署よりスーパービジョンを受けた。

- ・事業継続計画の検討・策定

大規模災害や感染症拡大等による有事においても支援が継続できるよう、BCPの策定を終えた。定期的な職員の動きも確認をしながら、定期的に見直しを行っていく。

#### 企画総務係

- ・コンプライアンス遵守による法人運営

関係法令と現行の運用状況を確認し、規程の整備を順次実施した。

- ・業務環境の整備

ICTの活用や業務手順の見直し、職場環境の整備を関係部署と協働して進めた。また、各専門家からのアドバイス等を定期的に受け、労務管理、相談体制等に関する整備を進めた。

以上の内容を重点取組事項として実施しました。各事業における実施内容は、以下のとおりです。

# I. 地域福祉活動推進部門

## 1 コミュニティソーシャルワーク活動推進事業

### (1) 個別課題の把握と地域連携の推進

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）として、多様な地域資源を活用しながら、個別課題の解決に向けた地域活動支援及び生活支援サービスの体制整備を図った。また地域包括支援センターの日常生活圏域や小学校区域及び民生委員児童委員協議会区域など、区域ごとのニーズに対して、地域包括支援センター等の他機関や他団体と連携して小地域における福祉の仕組みづくりを推進した。

- ① 地域活動や地域生活課題の把握及び解決に向けた協議、地域活動団体が開催する集会等への参加
  - ・ 東部地区 19 地域 154 回
  - ・ 中部地区 7 地域 66 回
  - ・ 西部地区 9 地域 67 回
- ② 集会での検討事項や、聞き取り調査等から表出した個別課題や地域課題について、サポーター等と共有し、関係機関との連携を図った。

### (2) 逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画の推進

逗子市の福祉分野の基幹計画である「逗子市地域福祉計画」で掲げられた理念を具体化するために、逗子市地域福祉推進計画と一体化して策定した「逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画」（8年計画）の施行1年目として逗子市と連携し、地域支援活動を推進した。

### (3) 逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画の進捗管理

- ① 逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画懇話会  
計画の所管評価に対する意見徴収及び進捗状況の確認の場として開催した。
  - ・ 第1回 令和5年5月31日 第2回 令和6年3月26日

### (4) 地域福祉推進部会の運営

担当理事で構成する部会を開催し、地域福祉推進事業の遂行と各地区の地域福祉活動について協議した。

- ・ 第1回 令和5年11月7日 第2回 令和6年2月27日

## 2 ボランティアセンター事業

### (1) ボランティア活動の推進

市関係セクション、ボランティア関係団体などとの連携を通して、ボランティア活動を充実させ、相談支援・コーディネート・啓発活動・情報収集・連絡調整を行った。

- ① ボランティア（個人・団体）の育成支援  
ボランティア活動に関する相談、登録及びボランティアニーズのコーディネートを行うとともに、ボランティアの活動拠点を提供した。またボランティアグループとの連絡調整等、ボランティア活動がより豊かなものとなるよう支援し、地域福祉の向上発展に努めた。
  - ア 登録ボランティアの育成及び活動支援  
登録ボランティアに対して、活動の育成・支援を行った。またボランティア活動保険加入希望者への対応を行った。

- ・ボランティアセンター登録者数  
個人ボランティア 18名  
ボランティアグループ 75団体
- ・ボランティア活動保険加入者数  
基本プラン 407名 天災・地震補償プラン 161名 特定感染症重点プラン 60名 計 628名

イ ボランティア相談の対応及びコーディネート

ボランティア活動に関する各種相談に応じるとともに、「ちょっとした困りごと」ニーズに対するコーディネートや活動に関する助言などを行った。また、地域活動者（お互いさまサポーター）や自治会と連携した支援体制の構築やボランティア活動の活性化に向けた支援を行った。

- ・相談対応 合計 219件（令和4年度合計 61件）  
（ボランティアに関する相談 91件、地域活動に関する相談 34件、個別支援に関する相談 44件、その他 50件）

ウ ボランティアセンターあり方検討会の開催

ボランティアセンターの役割、目指す方向性等を検討協議し、新たな機能を構築するため検討会を月1回ペースで開催した。

エ ボランティア村の開催

逗子市民まつりにおいて「あつまれ！ボランティア村」を開催した。子どもをはじめとした参加者が楽しく過ごせる空間を提供しながら、「福祉」に触れる場を設けた。また、逗子市ボランティア連絡協議会および本会の周知活動を行った。（10月22日）

② 地域における通いの場（サロン）の推進・運営支援

住民同士の交流や健康維持、地域活性化を目的としたサロン活動（参加者を固定せず誰もが集える場の提供）を住民主体で展開している団体に対し、新規立上げや継続支援を実施した。

ア 体操指導や音楽指導等の介護予防講座への講師派遣

地域におけるふれあいサロン等の介護予防事業において、体操・口腔・音楽指導の講師による出前講座ならびにその調整を行った。

・地域介護予防活動支援業務状況

講師種別	件数	参加人数	内高齢者数
体操指導	328件（291件）	3,608名（3,265名）	3,545名（3,213名）
口腔指導	2件（2件）	20名（28名）	20名（28名）
音楽指導	64件（38件）	699名（433名）	699名（433名）

※（ ）内は、令和4年度実績

- ・介護予防地域活動団体のサロン活動に係る相談業務  
講師派遣について 399件（令和4年度は 352件）  
状況確認について 280件（令和4年度は 258件）
- ・逗子市地域介護予防活動支援補助金関連業務  
各サロンの申請等に係るコーディネートを行った。
- ・逗子市地域介護予防活動支援補助金申請手続きに係る補助業務  
逗子市地域介護予防活動支援補助金交付 15団体（令和4年度 19団体）

イ 運営方法についての総合的なコーディネート

- ・新規立上げ支援 対象：4団体  
「フレスコボール沼間クラブ」「あいたくての会」「山の根サロン」「シナモンの木」
- ・各団体の状況確認及び情報提供  
サロン活動実施団体に対して、開催状況の確認や必要に応じた活動支援・情報提供を実施した。

(対象 45 団体)

- ・活動再開支援 対象：1 団体
- ウ サロン情報冊子の発行
  - ・冊子「逗子市内サロン一覧」の作成（掲載 44 団体）及び配布
- エ 交流会の開催
  - ・実施なし（代替として、サロン団体へのアンケート調査及びサロン冊子発行を行った）
- オ 介護予防活動の普及啓発
  - ・イベント開催
    - 「ボールウォーキング・コグニサイズ」  
（令和 5 年 9 月 28 日 参加者 11 名／10 月 26 日 参加者 15 名／12 月 1 日 参加者 17 名）
    - 「バランスボールお試し会」 （令和 5 年 11 月 24 日 参加者 7 名）
    - 「笑顔トレーニング講座」 （令和 6 年 2 月 5 日 参加者 31 名）
  - ・体操指導、物品貸出、活動運営支援等を実施
- カ 住民主体の通いの場に対する専門職派遣事業への協力
  - ・地域の住民主体の通いの場にリハビリテーション等専門職を派遣し、高齢者の自立支援を実施するための市の事業に対し協力した。（対象 3 地区）

## (2) 各地域における地域福祉活動の仕組みづくり及び支援

地域資源の把握・開発、ネットワーク構築、各種担い手の養成・発掘、ニーズ対応活動や、地域安心生活サポート事業の推進を通じて、小地域における地域福祉の仕組みづくりと活動支援を行った。

### ① 担い手育成

- ア 養成講座、研修会、ボランティア等各種講座の開催
  - ・地域支えあい学習会

「みんなで考える 親なきあとのこと」

日程・会場	令和 5 年 6 月 11 日・佛乗院
参加者	20 名
講師	藤井奈緒 氏 (一般社団法人「親なきあと」相談室 関西ネットワーク代表理事)

「障がいの当事者からの学び ～福祉で地域をつくる～」

日程・会場	令和 5 年 11 月 13 日・沼間小学校区コミュニティセンター
参加者	17 名
講師	成田五十男 氏 (もやいデイサービス利用者/身体障害者 3 級) 荒木俊彦 氏 (視覚障害者) 植草良太 氏 (湘南の風 もやい 副施設長)

「ひきこもりの 8050 問題を考える」

日程・会場	令和 5 年 12 月 11 日・佛乗院
参加者	20 名
講師	丸山康彦 氏 (不登校・ひきこもり相談室 ヒューマン・スタジオ)

「互いに助け合う 新宿地域を目指して」

日程・会場	令和 6 年 1 月 23 日・新宿会館
参加者	16 名
講師	宮脇文恵 氏 (宇都宮短期大学 教授)



「わたしとあなたの境界線って何だろう？」

日程・会場	令和6年3月29日・市民交流センター
参加者	23名
講師	畠中一郎氏 (一般財団法人すこやかさゆたかさの未来研究所 代表理事)

・送迎支援ボランティア講座

参加申込人数が開催基準に満たなかったため、中止。

・担い手の増員

「介護に関する入門的研修：入門講座」と連携し、研修修了者を「高齢者生活支援担い手養成研修」の修了者として認定した。 修了認定者8名

イ オンライン活用の促進や住民への支援

ボランティア団体、サロン団体等へのオンライン活用の支援を行った。

② 地域における支え合いの仕組みの推進や支え合い活動の支援

第2層生活支援コーディネーター（東部・中部・西部地域包括支援センター）と連携して、地域住民に対し、地域における支え合いの意識醸成及び普及啓発を行い、目指す地域の共有化を図った。また、社会状況の変化による各世帯の課題や困りごとに対するアプローチ並びに地域支援の仕組みを検討した。

ア 地域安心生活サポート事業（お互いさまサポーター）

地域の中で支援が必要な人を、お互いさまサポーター（地域住民）による見守りや、簡単なニーズ支援活動を行う体制づくりを推進した。

- ・サポーターチーム 27チーム、サポーター数 516名、利用登録者数 197名
- ・サロン活動 19チーム（サポーターチームがサロンを運営）
- ・新規登録1チーム（お互いさまいきいきハイランド）
- ・他自治会等への周知・協議を実施

イ 多世代を意識した地域交流の場づくり、イベントの支援

多世代の顔の見える関係作り、子育て世代を中心とした若い世代の地域活動参加、協力、そして地域活動の促進を目的として、小地域における多世代交流イベント・居場所を開催した。

- ・多世代交流イベント開催 1地区（「沼間三丁目自治会と共催」令和5年11月26日）
- ・多世代が集う居場所の開催

「沼間三の休息时间」（令和5年4月4日/7月12日/11月29日/令和6年2月29日）

「山の根サロン」（令和5年6月5日/9月26日/12月5日）

「東昌寺の休息时间」（令和5年6月30日/11月24日/令和6年3月29日）

「みんなのアトリエ」（令和5年11月30日）

「親子で楽しむ 亀が岡喫茶室」（令和6年2月21日/3月27日）

「シナモンの木」（令和6年2月1日）

- ・多世代が集う居場所への支援 2団体（「新宿多世代交流サロン」「多世代交流サロン つなぐ」）

ウ 送迎支援ボランティアの仕組み

高齢になっても自宅近くの集いの場に通い、近隣の地域住民との交流・関係性を継続することを目的として、「おれんじカフェ」（認知症サロン）の参加者を対象に、自宅から居場所までのボランティアによる送迎支援の仕組みを検討・遂行した。

- ・中部おれんじカフェ：毎週金曜日。利用者2名。（令和5年5月から実施）
- ・東部おれんじカフェ：月1回。利用者2名。（令和5年6月から11月まで実施）
- エ 地域における食料支援の受け取り窓口の開催
  - スズキヤ逗子駅前店、地域包括支援センター、逗子市スポーツ協会、ヨークマート東逗子店と連携して、食料支援の受け取り窓口を開催した。（全10回）
- オ 社協ミニ講座の実施
  - 福祉意識の醸成、支え合いやボランティア活動の推進、介護予防の普及啓発等を目的として、地域活動団体等に対して、集会等を活用して、社協職員によるミニ講座を開催した。（全19回）
- ③ 社会資源の把握（データ管理、情報収集、更新）
  - 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることを目的に、日々の生活で活用できる便利なサービス情報を集約・更新した。「かながわ福祉サービス振興会」と連携のもと、かながわ福祉サービス振興会のホームページ「地域包括ケアシステム」に掲載した。掲載数：20項目 114事業所
- ④ ひきこもり当事者、家族に関する支援
  - ア 居場所支援「い〜〜ばしょ逗子」（主催：神奈川県ひきこもり地域支援センター）
    - 福祉会館にて開催。（令和5年11月7日 参加者7名）
  - イ お寺で休息「親あるあいだの語らいカフェ」（主催：佛乗院、後援：本会等）
    - 年5回開催。（4/15、5/19、6/11、9/15、12/11 参加者10名程度）

### （3）福祉教育・福祉人材育成の推進

市内小・中学校からの要請を受け、地域の実情に即した形での福祉体験を通し、人と人との関わり合いや地域において互いに支え合うことの大切さを学ぶ協力を行った。地域の社会資源や地域教育力を活用して実施した。

#### ① 福祉教育の実施

##### ア 小学校

- ・市内3校、12日間、22コマ実施。
- ・内容：講話「社協とは？」、講話「みんなちがって、みんないい」のほか、高齢者・障がい者等、地域の様々な人との交流、街中での車イス体験。

##### イ 中学校

- ・市内2校、4日間、5コマ実施。
- ・内容：発達障がいをテーマとした講話、ワーク等

#### ② 中高生のボランティア体験プログラム

市立中学校（3校）、県立高等学校（2校）、私立中学・高等学校及び市内在住の生徒（市外への通学者）を対象に、福祉施設（特別養護老人ホーム3か所、保育所6か所、障がい者事業所1か所）におけるボランティア体験「サマースクール」を通し、ボランティア活動などに参加する意義を学ぶことを目的として実施した。

- ・施設連絡会 令和5年5月18日
- ・開催期間 令和5年7月21日～8月28日
- ・参加者数 34名（延べ人数81名）（令和4年度 参加者30名）
- ・協力施設数 10施設

#### ③ 福祉教育チームの運営

逗子市における福祉教育実践の協議及び、具体化したプログラムを検討する場として、福祉教育チームを設置した。福祉教育セミナー、プロジェクト等について検討した。

- ア 会議の開催 10回開催

イ 第20回福祉教育セミナー「私たちのまち逗子」における福祉教育の展望」開催

日程・会場	令和5年12月27日・市民交流センター（オンライン有）
参加者	59名（市民交流センター46名、オンライン13名）
内容	パネルトーク・基調講演・グループワーク
講師	基調講演 日本福祉大学 学長 原田正樹氏

ウ プロジェクトの開催

- ・学校実践プロジェクト：会合11回（小中学校の福祉教育検討）
  - ・学校実践2校（久木中学校・逗子中学校）
- ・地域活動プロジェクト：会合6回（地域状況の情報共有、自治組織のない地域の取組検討）
  - ・逗子7丁目地域を対象にした取組
    - 「地域交流会」開催（令和5年6月28日 参加者12名）
    - 「防災カフェ」開催（令和5年9月30日 参加者10名）
- ・絵本・アートプロジェクト：会合9回（絵本を活用した場づくり、啓発について検討）
  - ・「逗子を旅する絵本」（18冊・7月末から11月末まで実施）
  - ・「大人のための絵本ワークショップ」開催（令和5年12月7日 参加者5名）
  - ・「絵本リスト-増補版-」発行
  - ・絵本を活用した福祉の啓発
    - 「青空絵本」開催（令和5年6月15日/11月2日）
    - 子ども広場での絵本の読み聞かせコーナー開催（令和5年8月20日）
    - トモイクフェスティバルでの絵本展示（令和6年3月23日、24日）
  - ・絵本コーナー設置（福祉会館内）

④ 車イスバスケットボール体験会の開催

障がいを知る・学ぶフェスティバル「ふれあいフェス in ずし 2023」において、社協企画として、車イスバスケットボール体験ブースを開催した。

日程・会場	令和5年12月9日・逗子アリーナ
講師	熊谷 昌飛氏（車イスバスケットボール「相模フォース」）

⑤ 手話奉仕員養成講習会の開催

聴覚障がい者福祉への理解を広げることを目的として、初めて手話を学ぶ方を対象に入門課程講習会を葉山町社会福祉協議会と合同で開催した。

日程・会場	令和5年4月6日～令和5年8月24日（全20回）・葉山町役場
参加者	24名（令和4年度15名）
講師	逗葉手話講習会講師団

⑥ 介護に関する入門的研修（神奈川県社協からの受託事業）

地域で活躍する専門職や本会の職員等が講師となり、介護に関する入門的研修を開催し、介護現場で働く人材育成の第一歩となる機会を提供した。

ア 入門講座

日程・会場	令和5年8月5日～8月26日（内5日間）・福祉会館
参加者	研修修了者8名
対象	介護の仕事未経験・未就労であり、介護の資格未取得の方
内容	カリキュラムに準じて実施（23時間）
講師	市内介護保険事業所職員、本会職員

イ 基礎講座

日程・会場	令和6年3月9日・福祉会館
参加者	研修修了者28名
対象	介護の仕事未経験・未就労であり、介護の資格未取得の方
内容	カリキュラムに準じて実施（3時間）
講師	本会職員

⑦ 介護職員初任者研修

地域で活躍する専門職や本会の職員等が講師となり、介護職員初任者研修を開催し、地域の介護人材の育成と確保を図った。

日程・会場	令和5年9月5日～12月2日（33日間）・福祉会館
参加者	研修修了者7名
対象	逗子市在住・在勤・在学のいずれかで、介護職員として働くことに意欲を有する16歳から65歳以下で心身共に健康な方
内容	カリキュラムに準じて実施（130時間）
講師	市内介護保険事業所職員、本会職員他

(4) 災害ボランティアセンター・災害対応事業

地震等により被災した県外の災害ボランティアセンターに復興支援として職員を派遣した。また、逗子市災害救援ボランティアセンター設置運営訓練を行った。

ア 台風第13号による被災地職員派遣

派遣月日：令和5年10月9日～10日（1泊2日）

派遣人数：3名

派遣先：福島県いわき市災害ボランティアセンター

内 容：現地視察、活動支援

イ 能登半島地震による被災地職員派遣

派遣月日：令和6年2月16日～22日（6泊7日）

派遣人数：1名

派遣先：石川県中能登町災害ボランティアセンター

内 容：ボランティアセンターにおける運営支援、需給調整等

ウ 逗子市災害救援ボランティアセンター設置運営訓練

日 程：令和6年3月10日

参加人数：15名

内 容：会場設営・キントーンを用いた運営訓練・中能登町災害ボランティアセンターの現状報告

(5) イベント保育サポーター派遣事業

子育て中の保護者が講演会などに参加しやすいように、講演会開催時に参加者の子どもを一時保育するイベント保育サポーター派遣事業を実施した。

派遣実績

サポーター登録者数	44名（44名）
派遣依頼回数	34件（33件） 内市委託件数16件
派遣人数	延べ96名（93名） 内市委託件数46名

※（ ）内は、令和4年度実績

## (6) 福祉団体等財政支援

各種福祉団体に対し、団体助成金交付事業として、助成金交付審査会において適正な審査を行い、活動費等の助成を行った。

### ① 各種福祉関係団体活動支援

当事者等団体助成金交付実績

団体数	助成額(円)
10 (9)	243,000 (220,418)

※ ( ) 内は、令和4年度実績 ※その他、交付決定後、辞退あるいは全額返金した団体あり

### ② ボランティア団体活動支援

ボランティア団体助成金交付実績

団体数	助成額(円)
12 (13)	378,000 (402,613)

※ ( ) 内は、令和4年度実績 ※その他、交付決定後、辞退あるいは全額返金した団体あり

### ③ 子ども食堂応援事業協力金の支給

子ども食堂の活動を支援するため、協力金を支給した。

団体数	助成額(円)
2 (1)	100,000 (50,000)

※ ( ) 内は、令和4年度実績

※上記の1コミュニティソーシャルワーク活動推進事業、2ボランティアセンター事業は、逗子市からの委託事業である生活支援・介護予防サービス体制整備事業、地域福祉推進事業、介護予防普及啓発・地域活動支援事業を包含して実施した。

## 3 当事者・当事者団体支援活動

### (1) 家族介護者支援事業（逗子市からの受託事業）

在宅で家族を介護している方を対象に、家族のための介護教室の開催により、介護に必要な知識・技術の習得及び相互交流を実施した。

#### ① オムツの「いろは」を知ろう～オムツの選び方や機能を紹介～

日程・会場	令和6年2月10日・福祉会館
参加者	23名
内容	講義・実習
講師	ミニむつき庵 鎌倉 吉野 佐代子 氏 花王株式会社 窪田 由香 氏

#### ② 私の助けになる福祉用具を知ろう～車イスなど実演で紹介～

日程・会場	令和6年2月17日・福祉会館
参加者	18名
内容	講義・実習
講師	セントケア りまいん鎌倉 加藤 ひとみ 氏

③ 認知症について知ろう～「認知症の世界の歩き方」から学ぶ～

日程・会場	令和6年3月2日・福祉会館
参加者	21名
内容	講義・実習
講師	逗子市中部地域包括支援センター 赤松 伸子 氏

④ 介助の仕方を学ぼう～家庭での介助の工夫を学ぶ～

日程・会場	令和6年3月23日・福祉会館
参加者	17名
内容	講義・実習
講師	クゴリハ鍼灸院 久合田 浩幸 氏

(2) フレンドリーヘルパー派遣事業

市内在住の高齢者や乳幼児を子育て中の家庭で、一時的又は継続的に家事支援等を必要とする方を対象に、本会会員の互助事業として、日常の家事援助サービス等を実施した。

① ヘルパー活動（高齢者対応）

内容	人数・活動時間数
利用者登録数	88名 (87名)
ヘルパー登録者数	48名 (40名)
派遣人数	延べ801名 (694名) 月平均66.7名 (57.8名)
派遣時間	延べ4,608.5時間 (4,118.5時間) 月平均384時間 (343.2時間)

※（ ）内は、令和4年度実績

② ヘルパー活動（乳幼児対応）

内容	人数・活動時間数
利用者登録数	20名 (15名)
ヘルパー登録者数	15名 (14名)
派遣人数	延べ70名 (48名) 月平均5.8名 (3.4名)
派遣時間	延べ373時間 (278時間) 月平均31時間 (23.1時間)

※（ ）内は、令和4年度実績

③ フレンドリーヘルパー定例研修会

資質向上のため研修会

1回目

日程・会場	令和5年5月30日・福祉会館
内容	介護職のコツ
講師	本会職員

2回目

日程・会場	令和5年10月31日・福祉会館
内容	認知症世界の歩き方
講師	本会職員

### (3) あゆむサービス事業

一時的又は継続的に家事援助等を必要とする 65 歳以上の要支援・事業対象者の方に対し、家事援助等のサービスを提供し、当該世帯の福祉の向上を図るために実施した。

介護予防・日常生活支援総合事業における「住民主体による訪問型サービス事業」のサービス提供団体として逗子市と協議しながら住民ニーズに即したサービス提供を実施した。

#### ① 活動実績

内容	人数・活動日数
利用者登録数	2名 (5名)
ヘルパー登録者数	8名 (14名)
派遣人数	延べ44名 (48名)
利用時間(ゴミ出し除く)	延べ 3時間 (54時間)
利用回数(ゴミ出し)	延べ128回 (175回) 月平均10回 (14.5回)

※ ( ) 内は、令和4年度実績

#### ② 研修会

資質向上のため研修会を実施。(フレンドリーヘルパー定例研修会と合同開催)

### (4) お元気確認サービス事業

ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯等を対象に、平日の朝に電話等で安否確認を行い、家族等の指定先に報告を実施した。

・利用人数3名 (令和4年度実績 利用人数6名)

### (5) ひとり暮らし高齢者訪問事業(逗子市からの受託事業)

おおむね 65 歳以上の単身世帯を訪問し、心身の状況及び家族等の状況の実態を把握するとともに生活上、介護上の相談及び助言その他必要な相談及び助言を行った。

訪問件数	1,874件 (1,807件)
内在宅件数	1,113件 (1,139件)
内不在件数	761件 (668件)

※ ( ) 内は、令和4年度実績

### (6) 障がい者支援

障がい者の就労の場として、カモミール利用者に対し、公用車の洗車や封入作業を依頼し雇用確保の協力をした。

## 4 広報・普及啓発・会員制度

### (1) ガイドブックの作成

本会及び活動内容を周知するためにガイドブックを作成し配布した。

### (2) 広報紙の発行

広報紙「さくら貝」を隔月発行し(1回あたりの発行部数約3,500部)、自治会・福祉団体・サロン・施設等へ配布した。また、録音ボランティアグループ「やまばとの会」の協力により、視覚障がい者用CD版を毎号発行し、音声版として本会ホームページにも掲載した。

### (3) ホームページ等の運用

ホームページ等のインターネット情報媒体を活用し、本会の活動内容をより効果的に情報提供した。

#### ① ホームページの運用

事業の周知のため、ホームページを継続的に運用するとともに、全面リニューアルを行い、効果的な情報発信に取り組んだ。

#### ② インスタグラムの運用

新たに地域活動及びイベント周知を目的としてインスタグラムを運用し、情報発信の力を高めることを図った。フォロワー数 230 名（令和 6 年 3 月 31 日時点）

### (4) 事業広報による本会への理解促進

フードドライブチャリティーグッズを福祉会館、イベント等で販売し、フードドライブ事業及び地域課題の周知、活動への参加、理解の促進を図った。

### (5) 本会会員制度

#### ① 会員制度の推進

自主財源の確保や本会活動への参加促進を目的に、市民、団体、企業等の協力により、会員募集活動を実施した。募集は、自治会・町内会、民生委員児童委員等の協力を得ながら行った。

会員・会費実績

	会員数	金額
個人会員	2,422 名 (2,483 名)	1,441,650 円 (1,451,510 円)
団体会員	74 団体 (70 団体)	430,000 円 (385,000 円)
団体賛助会員	57 団体 (46 団体)	350,000 円 (265,000 円)
合計		2,221,650 円 (2,101,510 円)

※（ ）内は、令和 4 年度実績

## 5 体験学習施設親子スペース等運営事業（逗子市からの受託事業）

### (1) 体験学習施設親子スペース等に係る事業

市が開設している体験学習施設の一部運営を行った。

#### ① 親子遊びの場運営事業

感染症対策の緩和に伴い、利用人数制限をなくし、赤ちゃんタイム（毎週水曜日）、赤ちゃんタイムイベント（第 4 水曜日）、プラレールで遊ぼう（第 3 水曜日）、わらべうた（第 4 木曜日）等を実施開催した。

##### ア プレイルーム大・小の運営

来場者数 14,515 人（内訳：大人 6,705 人・子ども 7,810 人）

※令和 4 年度 13,828 人（内訳：大人 6,165 人・子ども 7,663 人）

##### イ プレイリヤカー

7 月からほっとスペース前の子ども広場にて再スタートした。

毎月第 2・4 金曜日、年 15 回開催した。

##### ウ 陽だまりサークル

子育て中の親を対象に、友達づくりの場の提供、一時的に子どもと離れリフレッシュできる場の提供を目的に開催した。



#### 1回目

日程	令和5年5月26日
参加者	5名
内容	ガラスアートでビーチサンダル作り
講師	石渡千賀子氏

#### 2回目

日程	令和5年6月14日
参加者	7名
内容	産後に効くピラティス
講師	前島由布子氏

#### 3回目

日程	令和5年10月26日
参加者	9名
内容	ボタニカルキャンドル作り
講師	小磯良子氏

#### 4回目

日程	令和5年11月22日
参加者	2名
内容	ダーニング
講師	比松彩氏

#### エ おもちゃ病院

毎月第3木曜日、年12回開催した。

#### ② カフェ事業

- ・営業時間 11時～16時（ラストオーダー 15時30分）  
※令和6年1月1日より11時30分～15時30分（ラストオーダー 15時）
- ・営業日数 296日（令和4年度は299日）

#### ③ 情報事業

子育てが円滑になり、意欲的に取り組めることや孤立せずに子育てできることを目的として、以下の情報の発信を行った。

#### ア 子育て応援紙「陽だまり」

子育て応援紙の企画・編集・発行を行った。年2回発行、配布部数2,385部、配布先40ヶ所。

#### イ 総合情報誌

2年に1回の発行のため、令和5年度は作成なし。

#### ウ えがおレポート

市内の様々な情報を「子育てポータルサイト えがお」に掲載した。レポーターは広報などで子育て中の市民を募集した。掲載5回。

## Ⅱ. 自立支援事業部門

### 1. 日常生活自立支援事業（名称：逗子あんしんセンター 神奈川県社会福祉協議会からの受託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者及び判断能力に不安がある方のために、福祉サービスの利用手続き等の援助をはじめ、日常生活に伴う預金の預け入れや引き出しなどを支援する日常的な金銭管理サービス及び通帳・権利書などの重要書類をお預かりする書類等預かりサービスを実施し、地域で自立した生活ができるよう支援を行った。

#### （1）逗子あんしんセンター

##### ① 相談援助件数

新規初回相談	39 (22)
契約者へのサービス提供に関する訪問活動	743 (788)
サービス提供以外で相談者・契約者に関する相談援助	1,586 (2,500)
合計	2,368 (3,310)

※（ ）内は、令和4年度実績

##### ② 新規契約件数

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	5	0	3	0	1	9
書類等預かり	0	0	0	0	0	0
両方契約	0	0	0	0	0	0

##### ③ 契約終了件数

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	7	0	0	2	0	9
書類等預かり	0	0	0	0	0	0
両方契約	0	0	0	0	0	0

※契約終了理由：死亡5件 施設入所3件 支援の継続困難0件 自己管理へ移行1件  
親族管理0件 後見人選任による管理0件

##### ④ 契約人数

令和6年3月末時点【実契約人数31名】（実契約人数31名）

種別	認知・高齢	知的	精神	身体	その他	合計
日常的な金銭管理	10 (11)	4 (4)	3 (0)	2 (4)	2 (1)	21 (20)
書類等預かり	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
両方契約	1 (2)	4 (4)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	9 (10)

※（ ）内は、令和4年度（令和5年3月末実績）

※ 書類預かりのみの契約を除くと実質的人数30名

##### ⑤ 契約締結審査会（神奈川県社会福祉協議会）

参加回数 1回（令和6年2月9日）

内 容 ・新規契約（毎月の収支で不足が生じる方の支援適否）について

##### ⑥ 局内カンファレンス

契約及び解約の可否に関する承認、支援内容助言等を行った。（計5回）

開催日 令和5年4月10日、8月17日、11月20日、令和6年1月22日、3月28日

⑦ 生活支援員の登録人数

- ・登録 14 名（現民生委員児童委員 1 名、民生委員児童委員による推薦 2 名、生活支援員からの推薦 2 名、ボランティア団体推薦 6 名、元民生委員児童委員 1 名、元消防職員 2 名）

(2) 権利擁護相談

① 弁護士相談（月 1 回、第 4 金曜日、14 時～16 時）

内容	成年 後見	相続	財産 管理	家族 関係	金銭ト ラブル	不動産 関係	近隣ト ラブル	遺言 書	債務 整理	その 他	合計
件数	0 (1)	10 (5)	1 (1)	7 (4)	2 (2)	3 (0)	1 (0)	0 (1)	2 (4)	1 (0)	27 (18)

※（ ）内は、令和 4 年度実績

(3) 広報・啓発

- ・逗葉地域在宅医療・介護連携相談室「多職種連携推進（井戸端サロン）」にて事例発表
- ・市広報紙、本会広報紙（法律相談）

## 2. 成年後見事業

(1) 法人後見事業

判断能力の不十分な高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等の権利擁護を図るため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等、身上監護を中心とした日常生活支援を成年後見人等として実施した。

① 法定後見業務

業務	後見	保佐	補助	合計
受任件数	5 (5)	2 (2)	0 (0)	7 (7)
終了件数	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)

※（ ）内は、令和 4 年度実績

② 法人後見運営委員会

参加回数 1 回（令和 5 年 6 月 12 日）

内 容 法人後見の受任について

③ 成年後見事業に関連する業務

ア 成年後見制度に関する相談

成年後見相談（電話）

内容	制度説明	家族関係	他機関案内	合計
件数	2 (6)	0 (2)	5 (3)	7 (11)

※（ ）内は、令和 4 年度実績

成年後見相談（来館・原則月 1 回 第 4 水曜日 14 時～16 時）

内容	制度説明	家族関係	合計
件数	5 (7)	0 (0)	5 (7)

※（ ）内は、令和 4 年度実績

イ 成年後見制度の普及啓発

- ・市広報紙、本会広報紙（成年後見相談）

### 3. 生活困窮者自立相談支援事業（逗子市からの受託事業）

生活困窮者等が様々な困窮状態から早期に脱却することを支援し、自立を促進することを目的とした自立相談支援や住居確保給付金の対応に取り組んだ。

(1) 相談対応・実績

① 相談件数

- ・新規相談件数 49件（令和4年度 65件）
- ・継続相談件数 37件（令和4年度 104件）

② 対応延べ件数

電話	来所	訪問	メール	その他	合計
693 (835)	165 (276)	68 (68)	32 (18)	60 (72)	1,018 (1,269)

※( )内は、令和4年度実績

(2) 相談対応後の継続・終結・経過観察

継続	経過観察	終結					
		転居	死亡	就職	生活保護	課題解決	連絡無・拒否等
16 (17)	21 (20)	2 (3)	0 (4)	2 (22)	12 (8)	27 (49)	6 (46)

※( )内は、令和4年度実績

(3) 住居確保給付金

初回	延長
1 (7)	1 (9)

※( )内は、令和4年度実績

(4) プラン作成件数

19件（令和4年度は31件）

(5) 生活保護受給者等就労自立促進事業申請者

8名（令和4年度は15名）

### 4. 家計改善支援事業（逗子市からの受託事業）

家計収支の均衡が取れていないなど、家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、自立相談支援事業と連携し、家計の見直しや債務整理等の支援を行った。

### (1) 相談対応・実績

- ・12件(うち逗子市支援決定5件)
- ※令和4年度実績 12件(うち逗子市支援決定6件)

### (2) 対応状況

家計表による家計、金銭管理支援等を行い、状況に応じて司法書士相談につないだ。

### (3) 司法書士相談

- ・相談内容 債務整理の説明・契約・助言等
- ・相談回数 3回
- ・債務整理3件(任意整理1件、自己破産0件、個人再生0件、その他2件)
- ※令和4年度実績 4件(任意整理0件、自己破産3件、個人再生0件、その他1件)

## 5. フードドライブ事業

市民からの食料支援等の協力をいただき、食料で困っている世帯に対し、食料の配布を行った。

また、市内子ども食堂スタッフ、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター等との連絡会を開催し、情報共有や「子ども応援大作戦」事業を実施した。

### (1) 食料支援

- ・食料支援(白米、レトルト食品、麺類等) 92件(令和4年度 289件)

### (2) 子ども応援大作戦

子どもがいる困窮している世帯を対象に、学校の長期休み前に食料支援を行った。必要に応じ定期的なフードドライブ事業に繋げ、継続的な支援も視野に入れ実施した。

#### ① 概要

	期間	配布世帯	配布人数
1回目	令和5年7月10日～14日	36世帯 内ひとり親世帯16世帯 (内父子世帯 1世帯)	137人
2回目	令和5年12月18日～22日	31世帯 内ひとり親世帯20世帯 (内父子家庭 1世帯)	108人
3回目	令和6年3月11日～15日	33世帯 内ひとり親世帯22世帯 (内父子家庭 0世帯)	123人

※令和4年度は3回実施

- ・後援：逗子市、逗子市教育委員会
- ・協力：逗子市民生委員児童委員協議会、子ども食堂スタッフ有志、横須賀ゾンタクラブ、逗子ロータリークラブ、各地域包括支援センター

② 連絡会 令和5年6月22日、11月10日、令和6年2月21日

## 6. 生活支援事業

### (1) 資金貸付事業

#### ① 生活福祉資金貸付(神奈川県社会福祉協議会からの受託事業)

他の融資を受けることが困難な低所得世帯や障がい者世帯等に対し、民生委員児童委員と本会が窓

口となり生活及び相談貸付援助、償還指導を行った。また、緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援に取り組んだ。

貸付相談・決定状況（償還相談含む）

	相談延べ件数	内訳
貸付相談	79 (713)	一般貸付 68 件 (480 件) ※主な相談内容 福祉資金、教育資金、緊急小口資金 不動産担保型生活資金 3 件 (13 件) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 0 件 (0 件) 総合支援資金 8 件 (220 件)
貸付決定	3 (43)	一般貸付 3 件 (25 件) ※内訳 教育 1 件、緊急小口 1 件、福祉資金 1 件 不動産担保型生活資金 0 件 (0 件) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 0 件 (0 件) 総合支援資金 0 件 (18 件)
フォローアップ支援	73	償還猶予・免除について 18 件 償還状況の確認や償還残額等の照会について 31 件 本則貸付等、他貸付の利用に関する相談 12 件 住所変更や口座振替依頼等の償還手続きに関する事 4 件 その他 8 件

※（ ）内は、令和 4 年度実績

② たすけあい資金貸付

低所得世帯等を対象に、緊急かつやむを得ない状況にある者に対し、貸付・相談援助・返済指導を行った。

対応状況

相談延べ件数	貸付件数	貸付総額(円)	償還総額(円)
12 (75)	11 (28)	118,000 (324,500)	137,000 (509,000)

※（ ）内は、令和 4 年度実績

(2) 生活援護事業

① 災害援護

火災等に罹災し、全焼・全壊・死亡及び半焼・半壊・重傷の世帯に対し、見舞金を支給した。

・対応状況 全焼 1 件 (15,000 円)

※令和 4 年度実績 全焼・重傷 1 件 (25,000 円)

② 交通遺児援護

県社会福祉協議会とは別に本会財源により、交通遺児に対し、小中学校入学時又は中学校、高校卒業時の祝金等の支給を行った。

・支給状況 高校卒業 1 件 (20,000 円)

※令和 4 年度実績 該当なし

## 7. さくら貝サービス事業所

### (1) 居宅介護支援事業（介護保険事業）

介護支援専門員（ケアマネジャー）が介護サービス計画（ケアプラン）の作成管理及び給付管理を行った。

#### ① 利用人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護	64 (68)	66 (68)	67 (66)	65 (69)	65 (67)	68 (65)	67 (68)	68 (70)	65 (68)	65 (67)	62 (67)	66 (66)	788 (809)
予防	29 (26)	28 (26)	25 (28)	23 (28)	23 (26)	22 (23)	22 (25)	19 (27)	18 (26)	20 (30)	20 (30)	20 (31)	269 (326)

※（ ）内は、令和4年度実績

### (2) 居宅訪問介護サービス事業（介護保険事業）

訪問介護員によるサービス提供（身体介護・生活援助・訪問型サービス）を行った。

#### ①利用時間数内訳

(時間：分)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
身体介護	383:50 (703:30)	484:10 (620:40)	536:55 (610:25)	552:15 (570:25)	528:00 (493:05)	460:05 (459:10)	513:30 (414:20)	473:00 (486:25)	449:15 (485:05)	417:10 (498:25)	434:00 (465:00)	462:15 (446:30)	5,694:25 (6,253:00)
生活援助等	668:40 (790:00)	870:20 (779:55)	825:50 (846:10)	839:20 (792:15)	796:30 (784:45)	754:00 (760:25)	789:00 (737:00)	764:55 (791:35)	688:10 (780:15)	586:25 (790:35)	640:45 (748:05)	680:30 (742:30)	8,904:25 (9,343:30)
合計	1052:30 (1493:30)	1354:30 (1400:35)	1362:45 (1456:35)	1391:35 (1362:40)	1324:30 (1277:50)	1214:05 (1219:35)	1302:30 (1151:20)	1237:55 (1278:00)	1137:25 (1265:20)	1003:35 (1289:00)	1074:45 (1213:05)	1142:45 (1189:00)	14,598:50 (15,596:30)

※（ ）内は、令和4年度実績

#### ② 利用人数及び利用時間数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護	79 (96)	83 (92)	85 (91)	87 (88)	85 (85)	77 (81)	80 (84)	84 (86)	74 (86)	66 (86)	67 (84)	67 (82)	934 (1,041)
予防	25 (17)	24 (17)	21 (19)	19 (19)	17 (19)	17 (21)	15 (29)	14 (25)	13 (25)	11 (23)	12 (25)	12 (21)	200 (260)
利用時間	1052:30 (1493:30)	1354:30 (1400:35)	1362:45 (1456:35)	1391:35 (1362:40)	1324:30 (1277:50)	1214:05 (1219:35)	1302:30 (1151:20)	1237:55 (1278:00)	1137:25 (1265:20)	1003:35 (1289:00)	1074:45 (1213:05)	1142:45 (1189:00)	14,598:50 (15,596:30)

※（ ）内は、令和4年度実績

### (3) 障害者総合支援事業

身体障害者居宅介護等事業（家事援助・身体介護・通院介助・重度訪問介護）、移動支援事業（移動支援）を行った。

## ① 障がい福祉サービス

(利用時間及び利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
時間	215:50 (225:00)	193:00 (221:40)	202:50 (219:05)	248:00 (262:05)	232:00 (255:00)	223:00 (176:40)	211:50 (168:50)	217:00 (200:40)	189:50 (210:15)	193:50 (206:30)	177:50 (197:40)	184:50 (242:40)	2,489:50 (2,586:05)
利用人数	19 (22)	18 (22)	20 (21)	19 (22)	19 (22)	18 (23)	19 (23)	20 (23)	19 (24)	17 (20)	17 (18)	17 (18)	222 (258)

※ ( ) 内は、令和4年度実績

## ② 移動支援サービス

(利用時間及び利用人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
時間	85:50 (99:50)	81:50 (86:40)	70:00 (88:00)	79:00 (74:40)	51:50 (73:50)	44:50 (75:00)	56:50 (75:00)	54:00 (80:50)	54:50 (51:50)	60:00 (51:25)	49:00 (99:15)	61:00 (153:00)	749:00 (1,009:20)
利用人数	5 (6)	5 (8)	6 (6)	5 (5)	4 (5)	5 (4)	5 (4)	5 (5)	6 (5)	6 (5)	5 (5)	5 (4)	62 (62)

※ ( ) 内は、令和4年度実績

## 8. 地域包括支援センター (逗子市からの受託事業)

担当地域における高齢者に対し、心身の健康保持及び生活の安定のための必要な支援を行った。

## (1) 総合相談支援業務

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	94 (109)	106 (104)	118 (125)	132 (107)	107 (127)	116 (121)	123 (109)	118 (105)	130 (100)	130 (88)	104 (65)	112 (107)	1,390 (1,267)
対応延件数	254	323	346	342	370	337	327	325	298	356	351	352	3,981

※ ( ) 内は、令和4年度実績

## (2) 権利擁護業務

## ① 成年後見制度

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	1 (1)	5 (0)	2 (3)	0 (4)	3 (5)	2 (5)	1 (7)	4 (2)	3 (5)	3 (2)	4 (2)	3 (1)	31 (37)

※ ( ) 内は、令和4年度実績

## ② 高齢者虐待への対応

## ア 対応件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	0 (1)	2 (0)	6 (4)	4 (2)	4 (6)	3 (3)	1 (2)	3 (0)	3 (2)	2 (7)	6 (0)	2 (3)	36 (30)

※ ( ) 内は、令和4年度実績

イ 虐待研修として、家族システム論に基づき、家族全体の視点を学ぶ機会を持った。



③ 消費者被害の防止

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	1	1	1	0	1	1	0	2	1	0	0	0	8
	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)	(3)	(8)

※ ( ) 内は、令和4年実績

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

① 介護支援専門員への助言等

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対応案件数	1	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	6
	(1)	(1)	(4)	(4)	(0)	(1)	(2)	(1)	(1)	(1)	(0)	(1)	(17)

※ ( ) 内は、令和4年実績

② 介護支援専門員対象の研修会等開催

・ケアマネサロンの開催（各地域包括支援センターと合同開催） 6回

(4) 予防給付・介護予防ケアマネジメント業務

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
委託	契約件数	2	3	2	2	1	5	1	2	6	1	4	2	31
		(3)	(2)	(5)	(1)	(1)	(1)	(0)	(2)	(1)	(2)	(1)	(1)	(20)
委託	給付件数	92	90	89	89	84	83	85	86	87	90	86	90	1,051
		(106)	(102)	(107)	(101)	(100)	(100)	(96)	(99)	(97)	(104)	(99)	(99)	(1,210)
包括	契約件数	5	3	8	5	7	4	4	4	5	7	6	5	63
		(0)	(3)	(2)	(6)	(4)	(2)	(4)	(1)	(4)	(2)	(4)	(5)	(37)
包括	給付件数	87	88	87	94	93	95	93	93	98	99	107	108	1,142
		(66)	(69)	(72)	(77)	(83)	(83)	(79)	(89)	(89)	(79)	(84)	(86)	(956)
給付件数合計		179	178	176	183	177	178	178	179	185	189	193	198	2,193
		(172)	(171)	(179)	(178)	(183)	(183)	(175)	(188)	(186)	(183)	(183)	(185)	(2,166)

※ ( ) 内は、令和4年度実績

(5) 認知症に関する取り組み

① 認知症の理解と対応の推進

ア 認知症サポーター養成講座 2回 60名参加

イ 池田通り商店街と作成した「認知症版買い物ガイド」を配布し、認知症の理解と促進を図った。

ウ 「認知症世界の歩き方」の教材を使用し、当事者への理解促進のため、住民、家族介護者教室、民生委員児童委員、フレンドリーヘルパーに講義を行った。

② 認知症高齢者や家族に対する支援

ア 家族会の周知や定期開催の継続支援を行った。

イ おれんじカフェの参加を通して、本人らしさが発揮できるようなプログラムを開催した。

ウ 住み慣れた地域で、認知症の方と家族を対象としたコンサート開催 15名参加  
(開催日 令和5年12月2日)

③ おれんじカフェの運営

ア 認知症カフェの開催 毎週 年間延べ参加人数 242名

## イ 送迎ボランティアとの連携

### (6) 地域ケア会議推進事業

- ① 個別課題に関する地域ケア会議 6回開催（令和4年度は4回）
- ② 地域課題に関する地域ケア会議 2回開催（令和4年度は3回）
  - ア 桜逗会館周辺での介護予防教室について
  - イ グリーフケアを考える

### (7) 生活支援コーディネーター（第2層）業務

第2層生活支援コーディネーターとして、地域資源の把握・資源開発・ネットワーク構築等について第1層生活支援コーディネーターと連携し、生活支援・介護予防に係るサービスの体制整備を実施した。

- ① 地域のニーズと資源状況、課題の把握
  - ア B型の訪問型サービスの積極的利用と、それぞれの個別ケースの振り返りをし、課題を把握した。
  - イ 認知症の買い物ガイドを啓発するため、スーパーマーケットにも、高齢者の買い物の様子を聞き取った。
- ② 地域における支えあい・介護予防の取り組みに関する普及啓発
  - ア 「逗子しおかぜ体操」を通じて、介護予防、地域づくりを継続支援（桜逗会館）
  - イ 通いの場の卒業生の活動する場の立ち上げと継続支援
  - ウ 住民主体で実施するための「ラジオ体操」の継続支援
  - エ お互いさまの活動が浸透しづらい地域の平常時の見守り体制の模索
  - オ 災害ボランティアネットワークと住民と協働で逃げる訓練を実施
  - カ 男性の会の継続支援により、男性の居場所の継続
- ③ 関係機関等との連携及びネットワーク構築
  - ア 第1層生活支援コーディネーターとの打ち合わせ 12回
  - イ 逗子市社会福祉課への報告 12回
  - ウ 民生委員児童委員協議会（中部地区・西部地区）への参加 24回
  - エ お互いさまサポーター集会、地域サロン等への参加 211回

### (8) 重層的支援体制整備事業（多機関協働事業・参加支援事業）

- ① 地域のニーズと資源状況、課題の把握
  - ア 山の根自治会で、65歳以下の方対象に、地域に対する意識調査を実施 279名中123名分回収
- ② 多機関協働
  - ア 個別の相談を通して、関係機関と連携し、支援の方向性等を検討
- ③ 地域づくり
  - ア 空き家を使用し、多世代の人が集まり、参加者が講師になりものづくりを通しての居場所を展開した。
  - イ 若い世代の発案、協働から、多世代の人が集まりゆったりできる居場所を展開した。
  - ウ サロン運営に関して、担い手に対し目的の確認やプログラムの内容変更等の支援を行った。

### (9) 介護予防実態把握事業

逗子市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査より抽出された対象者に対し、訪問等により面談を行い、フレイルに関する情報・助言を重点的に行った。

- ①訪問件数 29件（令和4年度は12件）

(10) その他

① 地域包括支援センター連絡会議

ア 円滑な運営・事業展開を図るため、市と各地域包括支援センターによる定期連絡会に出席

② 独居高齢者等情報交換会等

ア 市主催の独居高齢者把握及び情報交換を目的とした会議に出席

イ 市からの依頼により、ひとり暮らし台帳作成のための訪問業務及び台帳の作成事務を実施

③ センター内カンファレンス

ア 対応困難事例や虐待ケース等について必要に応じカンファレンスを実施

④ 事例検討

ア 支援困難事例等について各専門職に参加を依頼し、事例検討を実施

⑤ 作品展の開催

ア センター相談者等に対し、介護予防支援、表現活動の一環として作品の募集を行い、作品展を開催した。写真、絵画、手工芸品などの作品をセンター内、福社会館に展示した。また、作品の展示から、講師としての活躍の場につながる支援を行った。

## Ⅲ. 法人運営部門

### 1. 法人運営事業

#### (1) 評議員会・理事会・監事会・苦情解決第三者委員会・法人運営部会・評議員選任・解任委員会

本会の運営・経営管理上の重要事項や基本方針・適切な事業執行等の決定を行うため、評議員会・理事会等を次のとおり開催した。

##### ① 評議員会

- ・第1回 令和5年6月23日
  - 議案第1号 令和4年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業報告
  - 議案第2号 令和4年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会決算報告
  - 議案第3号 令和5年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第1号
  - 議案第4号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会理事の選任
  - 議案第5号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会監事の選任
- ・第2回 令和5年12月1日
  - 議案第6号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会定款変更について
- ・第3回 令和6年3月22日
  - 議案第7号 令和5年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第2号について
  - 議案第8号 令和6年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業計画について
  - 議案第9号 令和6年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会予算について

##### ② 理事会

- ・第1回 令和5年6月5日
  - 議案第1号 令和4年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業報告
  - 議案第2号 令和4年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会決算報告
  - 議案第3号 令和5年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第1号
  - 議案第4号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員候補者の推薦
  - 議案第5号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催
  - 議案第6号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会理事候補者の推薦
  - 議案第7号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会監事候補者の推薦
- ・第2回 令和5年6月23日
  - 議案第8号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会会長の選任
  - 議案第9号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会副会長の選任
  - 議案第10号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会顧問の選任
  - 議案第11号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任
- ・第3回 令和5年9月25日
  - 議案第12号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会定款の変更について
  - 議案第13号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
  - 議案第14号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
  - 議案第15号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会評議員会の開催について
- ・第4回 令和5年12月18日
  - 議案第16号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局職員就業規程の改正について
  - 議案第17号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局規程の改正について
  - 議案第18号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局職員の定年等に関する規程の制定につ

いて

議案第 19 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事務局職員給与規程の改正について

・第 5 回 令和 6 年 3 月 11 日

議案第 20 号 令和 5 年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会補正予算第 2 号について

議案第 21 号 令和 6 年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会事業計画について

議案第 22 号 令和 6 年度社会福祉法人逗子市社会福祉協議会予算について

議案第 23 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の改正について

議案第 24 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会小坪海浜地駐車場管理運営規程の改正について

議案第 25 号 社会福祉法人逗子市社会福祉協議会電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について

議案第 26 号 評議員会の開催について

### ③ 監事会

本会事業の遂行状況、財務の執行・管理状況について、監事による監査を実施した。

・金庫監査 令和 5 年 4 月 1 日

・本監査 令和 5 年 5 月 22 日

・前期監査 令和 5 年 11 月 20 日

### ④ 苦情解決第三者委員会

サービス利用者の権利保護を十分に行えるよう包括的な苦情解決の仕組み「第三者委員会」を組織した。令和 5 年度苦情件数は 0 件であった。

### ⑤ 法人運営部会

担当理事制を設け、理事と事務局が一体となり課題の共有化を図るとともに解決するための検討協議する場として部会を設置した。

・第 1 回 令和 5 年 5 月 23 日 第 2 回 令和 5 年 8 月 28 日 第 3 回 令和 6 年 2 月 21 日

### ⑥ 評議員選任・解任委員会

評議員の選任に伴い委員会を開催した。

・第 1 回 令和 5 年 6 月 13 日 第 2 回 令和 5 年 10 月 4 日

## (2) 研修

### ① 役員等研修

役員・評議員を対象に研修会を実施した。(2 回開催)

### ② 職員研修

神奈川県社会福祉協議会等で開催された研修及び各事業に関連する研修等に参加し、職員の資質向上に努めた。

## (3) 法人運営体制の強化

### ① 衛生委員会の設置・開催

衛生委員会を定期開催し、職場の衛生管理促進に努めた。開催回数 12 回。

### ② 産業医の配置

産業医を委嘱し、衛生委員会への参加、相談等を依頼した。

### ③ 社会保険労務士との定期会議

労務管理全般に関して、専門的な相談を受ける機会を設けた。開催回数 5 回。

### ④ 職員資格取得促進事業の推進

職員の業務遂行能力の向上並びに資質向上を目的とし、資格取得を促進する制度を推進した。

## 2. 企画事業

### (1) 企画

#### ① 第五次強化計画の進行管理・評価

キャリアを上積みするための資格取得に向けたアシスト制度の導入、コスト削減の取り組みを実施した。

#### ② 福祉功労者の表彰

社会福祉功労者（民生委員児童委員、ボランティア団体等）や福祉施設等従事者などの顕彰を行い、その功績を讃えた。（神奈川県共同募金会逗子市支会と共催）

- ・被表彰者 社協関係 24名 5団体
- 共募関係 4名 2団体

#### ③ 業務のスリム化

グループウェアや財務会計ソフトの運用により、業務の効率化を図った。

## IV. その他

### 1. 逗子市福祉会館管理運営事業（逗子市からの受託事業）

福祉会館の指定管理者として、市民に使いやすい施設運営を目指し管理運営した。

#### (1) 部屋別利用状況

区分	会議室		研修室		ボランティアコーナー		小会議室		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
計	576	6,044	291	2,765	286	964	224	1,291	0	0	1,377	11,064
	(561)	(5,539)	(321)	(3,261)	(377)	(1,358)	(198)	(1,316)	0	0	(1,457)	(11,474)

※（ ）内は、令和4年度実績

#### (2) 利用者別利用状況

区分	社会福祉団体		行政関係		各種団体		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
計	1,160	7,828	30	269	187	2,967	1,377	11,064
	(1,231)	(8,542)	(21)	(250)	(205)	(2,682)	(1,457)	(11,474)

※（ ）内は、令和4年度実績

#### (3) 有料件数と金額

件数	187 (205)
金額(円)	83,925 (92,325)

※（ ）内は、令和4年度実績

### 2. 基金等運営事業

#### (1) あゆむ銀行の運営

預託のあった善意（金品）を、預託者の主旨に基づき地域に還元した。市民の方々及び団体から多くの善意が寄せられた。

##### ① 金銭

目的別	件数		金額(円)	
一般福祉	116	(47)	653,912	(1,490,925)
障がい児者福祉	0	(0)	0	(0)
高齢者福祉	3	(1)	338,000	(100,000)
児童福祉	0	(0)	0	(0)
ひとり親世帯福祉	0	(0)	0	(0)
福祉基金	0	(0)	0	(0)
生活困窮者自立支援事業 (フードドライブ事業含む)	34	(40)	620,228	(844,985)
合計	153	(88)	1,612,140	(2,435,910)

※（ ）内は、令和4年度実績

② 物品

- ・食料品、介護用品など。

(2) 福祉基金の運営

- ・福祉基金を一部運用し、基金果実を地域福祉事業の財源とした。基金運用益 856,832 円。

### 3. 車イス・イベント機器の貸出

車イス、テント、机、イス、綿菓子機、ポップコーン機、もちつきセット等を有料（車イスは無料）で貸し出すとともに、市民活動を支援するため、印刷機・コピー機の利用を提供した。綿菓子機、ポップコーン機、もちつきセットは、年度途中で貸出しを中止した。

福祉機器等貸出件数

貸出物品	車イス	テント	机	イス	綿菓子機	ポップコーン機	もちつき	合計
件数	28 (20)	5 (1)	8 (2)	7 (2)	12 (7)	9 (7)	4 (2)	73 (41)

※（ ）内は、令和4年度実績

### 4. 社会福祉実習生の受け入れ

近隣大学等からの申し出により、社会福祉士現場実習の実習生1名を受け入れた。

### 5. 駐車場管理運営事業

地域福祉事業の財源を確保するため、小坪海浜地駐車場の駐車場管理運営を行った。

- ・小坪海浜地駐車場：月契約台数 47 台



## 6. その他

### (1) 神奈川県共同募金会逗子市支会事務局

#### ① 一般募金実績額

募金別	実績額 (円)	件数	備考
戸別募金	2,345,687	8,815	
	(2,690,016)	(9,394)	
街頭募金	268,672	16	街頭募金実績：16団体160名(延べ)が参加
	(121,460)	(12)	
法人募金	343,000	40	DM発送数(第一信1,842通、第二信502通)
	(379,000)	(43)	
学校募金	73,048	10	市内小学校・中学校・高校等
	(92,073)	(9)	
職域募金	181,383	51	一般職域及び公共施設合計57件
	(169,416)	(47)	
イベント募金	22,748	3	市内のイベント開催に集めた募金
	(10,247)	(1)	
その他の募金	26,802	8	
	(41,883)	(7)	
合計	3,261,340	8,943	
	(3,504,095)	(9,513)	

※( )内は、令和4年度実績

#### ② 年末たすけあい募金実績額

募金別	実績額 (円)	件数	備考
戸別募金	2,374,096	8,719	
	(2,622,176)	(8,880)	
街頭募金	78,490	12	街頭募金実績：12団体36名(延べ)が参加
	(57,333)	(8)	
法人募金	0	0	
	(0)	(0)	
学校募金	0	0	
	(0)	(0)	
職域募金	18,419	5	
	(33,435)	(7)	
イベント募金	0	0	
	(0)	(0)	
その他の募金	43,000	3	
	(55,000)	(2)	
合計	2,514,005	8,739	
	(2,767,944)	(8,897)	

※( )内は、令和4年度実績

#### ③ 神奈川県共同募金会逗子市支会委員会

- ・第1回 令和5年5月29日
- ・第2回 令和6年1月26日
- ・第3回 令和6年3月15日

④ 第46回神奈川県福祉作文コンクール

・令和5年度応募なし

⑤ 共同募金配分

令和4年度赤い羽根募金、年末たすけあい募金で集められた募金を地域福祉活動の財源として、令和5年度は以下の事業に配分した。

事業名	金額
当事者等団体育成事業	333,000円
ボランティア活動育成事業	750,000円
情報提供事業	245,000円
福祉功労者顕彰	122,000円
ボランティアセンター運営事業	74,000円
地域福祉共通事業	2,706,000円
地域福祉推進事業	80,000円
合計	4,310,000円

(総配分額 4,310,000円)